

**\* プロポーズ大作戦**

2章から約2か月後に3章はあります。そしてナオミによってボアズへのプロポーズ作戦がルツに提案される。ルツは信仰を持って従います。プロポーズは成功しますが、買い戻しをするには一つの課題があるとボアズは言います。それは自分よりも優先されるべき買い戻す権利のある親類がいるということです。ルツは朝早く目覚めてボアズの配慮の内に送り出されました。ボアズも自分の務めを果たします。ルツはナオミに事の次第を知らせます。そしてナオミはルツと事の成り行きを主にゆだねて待つ。買い戻しは無事にできるのか？続く…。

**\* 誠実な生き方**

ルツ、ナオミ、ボアズは2つのことを基本にして行動しています。それは、「人のために行動していた。」ということ、「神様の戒めに従って行動していた。」ということ。イエスも、「神を愛し、人を愛すること」(マタイ 22:37-40)が大切であると言っています。そして聖書は一貫してこう言っています。「わたしの戒めをあなたがたが守るなら、わたしは必ず、あなたがたを祝福しよう。」神様の前にある誠実な歩みをする者は祝福されると。逆に、神を愛さず、人を愛さない人は自己中心な人、自分中心に生きる人のことです。そういう人は祝福にあずかれません。

**\* 聖霊の力で**

私たちの信仰はどうか。どうゆう状況にあっても祝福に導かれる誠実な歩みをしているのでしょうか。神様が祝福してくださるっているのに、それに反した歩みをしていないか。自分には神を愛し、人を愛することができないと思っていないでしょうか。自分でできないからこそ神様はイエス様を通して助け主である聖霊を与えてくださいました。神様を信じるなら、私をも変えてくださる神様を信じましょう。

**\* 御前に誠実に**

私たちの人生は先が見えない、何が起こるか分かりません。でも恐れず揺るがされず神様の光のみことばを信じて神様の教えを守り、神様が祝福してくださる道を進んでいきたい。神様が私たちと共におられ、関わってくださっていることをもっと自覚して、聖霊の力により頼みながら神様の御前に誠実に生きていきたいと願います。神を愛し、人を愛し、どんなときも主の願われる祝福の道を一筋に歩む者とさせていただきましょう。